

- 東京管区気象台は防災分野における要配慮者対策を推進しており、その一環として、筑波技術大学と協力し、防災気象情報や津波フラッグ等の防災知識の教育、普及啓発活動を進めている。
- このたび、同大学の地元の水戸地方気象台を含めた3機関により、連携・協力に関する協定を締結し、更なる連携のもと取組を一層推進する。

## 令和4年度に実施した連携取組

### ○ 筑波技術大学生への講義、意見交換

- 視覚・聴覚障害を持つ学生それぞれを対象に実施
- 要配慮者目線から、記者会見における伝え方等について活発な意見交換が行われた



### ○ 東京都立葛飾ろう学校での講義

- 津波フラッグをはじめとした防災知識に関する講義を共同で実施
- 参加した学生からは、津波フラッグの理解が深まった、防災のことを楽しく学べた、災害について勉強になった、などの声があった



## 今後の取組計画

引き続き、筑波技術大学生への講義・意見交換等を実施しつつ、以下の取組を連携して進める。

- ろう学校等を対象とした防災教育の継続的实施
- 要配慮者を対象とした防災知識の普及啓発用資料の作成
- 上述の資料等を掲載した「ポータルサイト」の作成
- 要配慮者を対象とした防災イベントの実施



令和5年3月13日締結

締結者（左から）：

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 水戸地方気象台長      | 三井 秀夫（みつい ひでお）  |
| 東京管区気象台長      | 多田 英夫（ただ ひでお）   |
| 国立大学法人筑波技術大学長 | 石原 保志（いしはら やすし） |